

クボタ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

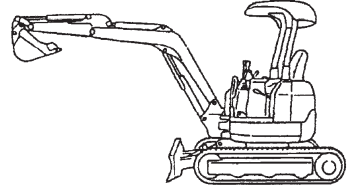
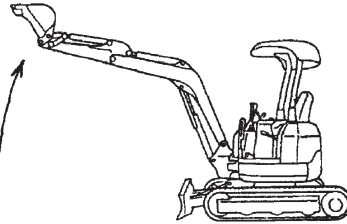
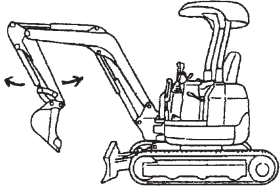
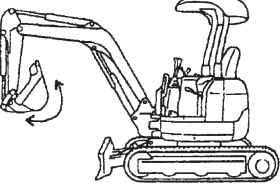
適用範囲		モデル名		K-005-3	
		仕様		H仕様	
		適用号機		30001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		min <sup>-1</sup>	2790
		ハイアイドルリング		min <sup>-1</sup>	1300 ~ 1400
		ローアイドルリング		(°C)	(50≥)
		(冷却水温)		(°C)	(50±5)
	弁すき間		mm	0.145 ~ 0.185	
吸気弁 隙間		mm	0.145 ~ 0.185		
排気弁 隙間		(°C)	(冷態時)		
圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差		MPa	3.43~3.92		
		kgf/cm2	35~40		
		(°C)	(80~90)		
		(rpm)	(250rpm)		
燃料装置		噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	MPa	13.9 ~ 14.7	
			kgf/cm2	142 ~ 150	
冷却装置		ファン駆動ベルトの張り	mm	-	
		[測定位置・条件]	N・m	-	
		(中間を指で押す力)	kgf	-	
		kgとNの両方で表記			
走行装置	走行性能	最高速度	1速	秒	24.0 ~ 30.0
			2速	-	
		[測定方法・条件]		[図 No.7]	
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り	mm	10 ~ 20
			(たわみ量)	[図 No.5]	
			[測定方法・条件]		
			L・D寸法	D	
		鉄シュー	張り	mm	-
			(たわみ量)	[測定方法・条件]	[図 No.5]
			[測定方法・条件]		
	L・D寸法				
リンクピッチの伸び	mm	-			
[測定方法・条件]					
履板取付けボルト締付け	N・m	-			
[測定方法・条件]	kg・m	-			

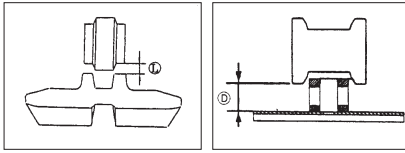
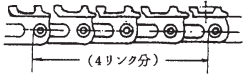
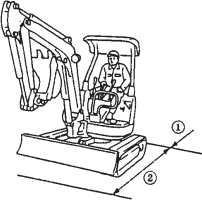
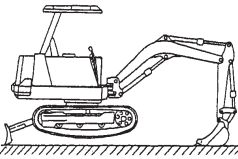
クボタ

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		K-005-3	
		仕様		H仕様	
		適用号機		30001~	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値	
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置	mm		-
		(測定時間)	(分)		
		(作動油温)	(°C)		
		作業装置姿勢			
		(図面番号表示)			
	シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ	mm	30≥	
		作業装置姿勢	負荷kg	19.8	
		(図面番号表示)	[図 No.1]		
アームシリンダ		mm	15≥		
作業装置姿勢	負荷kg	19.8			
(図面番号表示)	[図 No.1]				
バケットシリンダ	mm	10≥			
作業装置姿勢		19.8			
(図面番号表示)	[図 No.1]				
ブレードシリンダ	mm	10≥			
作業装置姿勢					
(図面番号表示)	[図 No.8]				
作業機速度	ブーム	上げ	sec	1.5 ~ 2.1	
		下げ	sec	1.5 ~ 2.1	
	作業装置姿勢		[図 No.2]		
	(図面番号表示)				
アームシリンダ	伸ばし	sec	3.0 ~ 3.6		
	縮め	sec	1.7 ~ 2.3		
作業装置姿勢		[図 No.3]			
(図面番号表示)					
バケットシリンダ	伸ばし	sec	3.2 ~ 3.9		
	縮め	sec	2.3 ~ 2.8		
作業装置姿勢		[図 No.4]			
(図面番号表示)					
	性能測定条件		[無負荷]		
	(荷重・設定モード等)				
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	MPa	14.7	
			kgf/cm2	150	
		性能測定条件 *油温	(°C)	(50±5)	
		(設定モード等) *エンジン回転	(rpm)	(フル回転)	
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付けトルク	アウトレース取付けボルトの	N・m	60.8~70.6	
		締付けトルク	kgf・m	6.2 ~ 7.2	
	インナレース取付けボルトの締付けトルク		N・m	60.8~70.6	
			kgf・m	6.2 ~ 7.2	
	旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	油圧モータ取付けボルトの	N・m	102.9~117.6	
		締付けトルク	kgf・m	10.5 ~ 12.0	
	旋回減速機取付けボルトの	N・m	-		
	締付けトルク	kgf・m	-		
備考					

★印：新基準値を表す。

項目	測定方法
<b>シリンダの自然降下量</b> [測定要領] 1. 水平な場所に機械を置く。バケット山積負荷とする。 2. アームシリンダを一杯縮め、バケットシリンダを一杯伸ばす。 3. バケットの底面地上高さを、1m程度の位置にする。 4. ブーム、アーム、バケットのシリンダロッドに印をつける。 5. 10分間の降下量を、スケールで測定する。 油温：50±5℃	 <p>図 No. 1</p>
<b>ブームシリンダ</b> 1. アームシリンダ、バケットシリンダを最縮小。 2. エンジンを最高回転にする。 3. 接地→シリンダエンド間の所要時間を測定する。 注、クッション作動時間は含まない。	 <p>図 No. 2</p>
<b>アームシリンダ</b> 1. ブーム、アームを図の状態にする。 2. エンジンを最高回転にする。 3. アームシリンダのフルストロークの所要時間を測定する。	 <p>図 No. 3</p>
<b>バケットシリンダ</b> 1. ブーム、アームを図の状態にする。 2. エンジンを最高回転にする。 3. バケットシリンダのフルストロークの所要時間を測定する。	 <p>図 No. 4</p>

項目	測定方法
<b>クローラの張り</b> 注) ゴムクローラの場合は継目マーク(∞)を上部中央にくるようにして調整する。 調整後1~2回クローラを回して張代を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クローラ部を浮かす</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>トラックローラの踏面と、リンク踏面とのすき間L又Dを測定する。</li> </ul> <p>図 No. 5</p>
<b>鉄シューリンクピッチの伸び</b> 測定方法	 <ul style="list-style-type: none"> <li>マスタピンから1~2リンク離れた4リンク分を測定する。</li> <li>シューリンクを張った状態で測定すること。</li> </ul> <p>図 No. 6</p>
<b>走行性能</b> 最高速度測定方法 条件 作動油温度：50±5℃	 <ul style="list-style-type: none"> <li>走行姿勢にし、各速度の最高速度が得られるまで助走する。</li> <li>10m間の所要時間を測定する。</li> <li>①助走</li> <li>②測定区間(10m)</li> </ul> <p>図 No. 7</p>
<b>ブレードシリンダ自然伸縮</b> 測定方法 条件 作動油温度：50±5℃	 <ul style="list-style-type: none"> <li>フロントとブレードを使用し上図のように車体を持ち上げる。</li> <li>ブレードのシリンダロッドに印をつける。</li> <li>10分後の降下量をスケールで測定する。</li> </ul> <p>図 No. 8</p>